

# 【奨励賞】 口腔開口器 バイトガード



代表取締役社長  
庄田 匡宏氏

ショーダテクトロン株式会社

〒431-1104 静岡県浜松市西区桜台5-1-1

TEL. 053 (414) 6111

<http://www.stech.co.jp/top.html>

## 【産学官連携特別賞】

浜松医科大学 特任准教授 鈴木 明氏

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1-20-1 TEL. 053 (435) 2111

「バイトガード」は脳や脊髄の手術を受ける患者の舌を保護する医療機器。手術中、患者の状況を確認するために実施される術中モニタリングの運動誘発電位（MEP）の影響で患者が舌を噛み損傷する事例が発生。歯が折れたり唇を切ったりする事例も発生している。本品はこうした問題を解決するため、同社と浜松医科大学が共同開発した。

従来は気管や胃に向けて挿入した管を歯で傷つけないよう保護器具としてバイトブロックが使われてきたが、本品はバイトブロックにはない機能を持たせた。口に装着した際、歯列の内側部分に舌が収まるU字型形状を採用するとともに舌を噛まないよう歯列内側部分を覆うカバーを備え、開口時に上下の歯の隙間に舌が飛び出さないようにした。長時間の装着や強く噛んでも口腔粘膜や歯を痛めない弾力性のあるエラストマー素材を採用。

近年、脳や脊髄を手術する際、脊髄機能の確認や運動まひを防止するため電気信号を脳に与えて筋電図を確認するMEPの導入が進んでいる。こうした手術技術の普及に伴い、術後の患者に舌や唇を損傷している事例が報告されるようになった。調査の結果、MEP中、無意識にあごが動き舌や唇などを噛んでしまうことが判明。本品を積極的に採用する横浜市立脳卒中・神経脊髄センター麻酔科医の坂井誠医師は「初期段階から完成度が高く、現場の悩みを解決してくれた製品」と高く評価。使用効果などを学会で発表する予定だ。

